

広報

No.238

国見

平成5年4月15日

発行・編集 国見町総務課

平成5年度スタート	2～3
グラフで見る平成5年度予算	4～5
平成5年度国見町の重点事業	6
春の行政相談週間	7
新消防団長に佐藤忠美さん	8
愛の献血に82人	9
人事異動	10
町職員組織表	11
おしらせ	12～13
公民館だより	14～15
わだい	16

※※※おもな内容※※※



激しい

ボールの奪いあい

'93
4月

3月26日、徳江運動公園には、長崎国見高校と福島工業高校とのサッカーの試合を見ようという、4,000人のサッカーファンが押しかけました。

ゴールをめざす激しいプレーが展開され、選手と共に一つのボールを追う歓客は、白熱した試合と高校日本一の長崎国見高校の選手のプレーをたん能しました。

試合は、長崎国見高校が福島工業高校の善戦に苦しみながらも2-0で勝利しました。



平成五年度スタート

●豊かで 住みよい 活力あふれる ふるさとづくり
●心の豊かさを持った 人間尊重の町づくり

三月十日から十六日までの日程で、平成五年第二回国見町議会定例会が開かれました。冒頭、富永町長より新年度にあたっての所信表明と提出議案の説明があり、七日間の会期に亘り慎重に審議された結果、全議案が原案どおり可決されました。

町政はこの四月から新年度に入り、豊かで住みよい、活力あふれるふるさとづくりを、目指した数々の事業が実施されます。今月号では、平成五年度にどのような町づくりが進められるかをお知らせします。

提案理由の要旨

平成五年度の国の予算は、人口の高齢化や国際社会における我が国の責任の増大など、今後の社会経済情勢の変化に財政が弾力的に対応していくため、歳出の見直しと合理化など、財源の重点的、効率的な配分を基本方針に編成されています。

その結果、一般会計予算規模は七兆三千五百四十八億円、対前年度比〇・二%の微増となっており、国債費等を差し引いた一般歳出は三十九

兆九千六百八十八億円、三・一%の増となり、政府経済見通しの名目成長率四・九%を下回る緊縮型予算となっています。

また、地方財政運営の指針ともいべき地方財政計画でも、国と同一基調のもとに行財政の簡素効率化を推進しています。地域の特徴を生かした地域づくりと住民生活の質の向上のための社会資本整備、福祉の充実を推進するために必要な事業費の確保と、公共投資の充実による内需拡大を図る観点を踏まえ、それに基づいて策定された地方財

政計画の歳入歳出規模は七十六兆四千五百二十二億円で、前年度に比較して二・八%の増となっています。

このような状況のもと、国見町では地方財政計画のほか、国・県の予算編成方針、経済見通し、第二次町振興計画を踏まえ、町民生活の充実と福祉の向上を図るため、積極的に各種施策の推進に取り組んで参りました。

平成五年度においても、豊かで住みよい活力ある町づくりと、心豊かな人間尊重の町づくりを、目指し、長期的視野に立ち、事業の選択については重点選別主義により対処し、財源の重点的かつ効率的配分に努め、予算の編成を行いました。その結果、予算の規模は五十億八千八百万円となり、対前年度比三・六%の伸びとなっています。

歳入

自主財源の大宗を占める町税については町民税、固定資

産税を中心に八億四千六百六十三万円、対前年度比十二・〇%の伸びとなっています。

地方交付税は、親月台文化センター建設に係る地域づくり推進事業費、地域福祉基金、新規事業として上野台運動建設事業は、第二次ふるさとづくり事業として事業費補正分が算入される見込みであり、交付額は対前年比二・六%の増、十八億一千六百万円を計上しています。

国庫支出金は、措置権の移譲に伴う老人保護措置費等で一億四百四十九万円、県支出金は国見東部高齢者等活性化センター、農林道整備事業補助金等一億八千二百八十八万円、町債は、親月台文化センター、上野台運動広場建設事業などで九億四千九百万円を計上しています。

基金繰り入れは親月台文化センター及び上野台運動広場の建設事業にふるさと振興基金から四億四千万円、財政調整基金から六千三百万円の繰

歳出

り入れをしています。この結果、町税等一般財源は二十九億三千七百四十七万円となり、歳入全体に占める比率は五十七・七%となっています。

歳出では、親月台文化センター建設事業費八億九千四百八十七万円、国見東部高齢者等活性化センター建設事業六千七百七十一万円、新規事業で上野台運動広場建設事業四億七千四百四十万円、大枝中央集会所、体育館建設事業四千九百六十三万円、水資源対策事業源宗山配水池建設に一億六千五百二十六万円を計上しました。

町道、農林道整備事業を中心とした投資的経費は、二十一億八千二百二十万円を計上。そのほか、高度情報化、国際化、高齢化の進行など社会経済情勢の変化に対応する諸施策推進には、それぞれ所要の経費を計上しています。

平成5年度 重点施策

活力ある町づくり

第一は「活力ある町づくり」の推進に努めます。

国見町の恵まれた自然環境と地理的条件を活かした第三次町振興計画を策定し、二十一世紀を目指した活力のある町を創造して参ります。

産業の振興については、工業団地の整理と優良企業の誘致を進め、若者が定着できる条件の整備と人口の定住化、



▲21世紀を担う子どもたち
(藤田幼児園式・4月8日)

町民所得の向上に努めます。商工業では、既存企業の育成を図り、工場設置奨励金の交付、商工会の育成、中小企業育成預託事業、商工振興会議等に要する経費を計上してまいります。

農林業では、農村総合整備計画実施計画の策定、県営圃場整備事業調査設計をはじめ、水田営農活性化推進事業、親月台溜池の農業水利施設高農度利用事業、中山原樹園地農道網の整備、石母田地区農道整備、大枝地区洪水防除施設整備事業等、生産基盤の整備を進めます。

また、農業振興会議、農業後継者の育成についても積極的に対応します。

快適で住みよい町づくり

第二に「快適で住みよい町づくり」の推進に努めます。

生活幹線道路網の整備を重点に、河川改良、都市計画事業、公共下水道事業の推進、人口の定住化を図るためにふるさとマイホーム住宅団地開発の調査を行います。

消防防災体制の充実強化、交通安全対策、こみ処理対策など、町民生活に直結する事業を推進します。

安心して暮らせる町づくり

町づくり

第三に「子供からお年寄りまで、みんなが健康で安心して暮らせる町づくり」を進めます。

健康づくりの推進は、健康診査事業の充実、婦人の健康づくり事業、健康フェア、町民ウォーキング大会の開催、母子保健推進事業の充実、在宅訪問看護診察事業と機能訓練事業、高齢者生きがい健康づくり推進事業を進めます。

福祉対策としては、高齢者福祉推進十か年戦略を踏まえ、

目下、策定中の町老人保健福祉計画に添い、在宅老人短期保護事業をはじめ、高齢者福祉、身障者福祉、児童福祉の諸施策を積極的に進めるとともに、親月台文化センターを拠点とするエイサー・ピス事業実施に向け、準備を進めます。社会福祉法人国見町社会福祉協議会の充実を図るとともに、季節保育所、家庭奉仕員派遣事業、寝たきり老人入浴事業を進めます。

長寿社会に備え、ふれあい福祉基金の積み増しをし、総合的な福祉対策を推進します。

将来の国見町を担う人材育成

第四は「将来の国見町を担う人材育成」の推進に努めます。

急速に進展する国際社会と高齢化社会への対応は、二十一世紀に活躍の中心となる現在の青少年の力に負うものが大きく、その担い手として国際的視野に立ち、自ら考え、創造し、行動する若者を育成し、定着させていくことが重要であります。このため、学校教育については、施設の整備と教育環境の整備に努めます。

生涯教育については、建設中の親月台文化センターは本年度完成に向け、重点的に取り組み、町民の生涯教育、文化活動、福祉の拠点として有効な活用を図ります。また、公民館活動の充実を図り、青少年から婦人、高齢者まで、自ら学び、自ら行う精神の育成をねらい、その推進を図ります。

スポーツの振興は健康づくり、人づくりの重要な要素であり、上野台運動広場建設は国の第二次ふるさとづくり事業で平成五年から三か年継続、大枝中央集会所、体育館は二

か年の継続事業として進めます。町民スポーツの振興ではスポーツ振興会、スポーツ少年団の育成を図ります。

文化振興については、文化財の保存、文化振興基金の充実、文化団体活動の助成をします。

中学生の英語指導と国際交流事業の充実を図るため、町単独で外国青年招致事業を推進して参ります。

町民総参加の町づくり

第五は「町民総参加の町づくり」を推進します。

町民のかたがたのご意見を町政に反映させるため広報広聴活動の充実を図り、地区別に町政懇談会を開催し、広く皆さんの声をお聴きし、町政に反映して参ります。

行財政体制を充実

第六は「行財政体制の充実」を図ります。

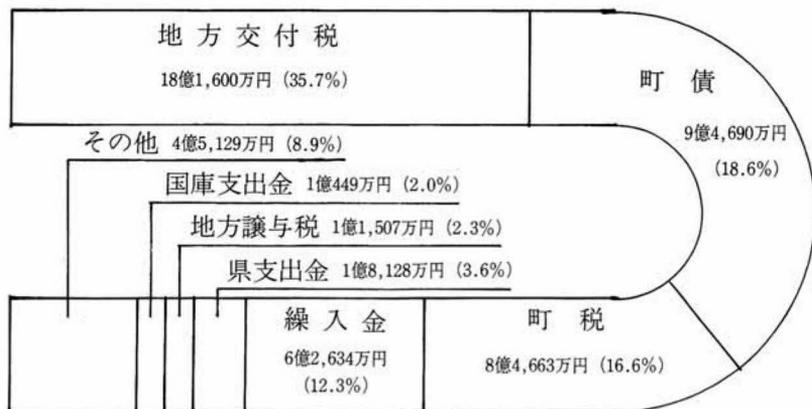
行政組織機構の見直しを行い、事務事業の効率的な執行と町民サービスの向上に努めます。

また、財政の運営については、長期的展望に立ち、計画性に基づく安定した財政の確立に努めます。

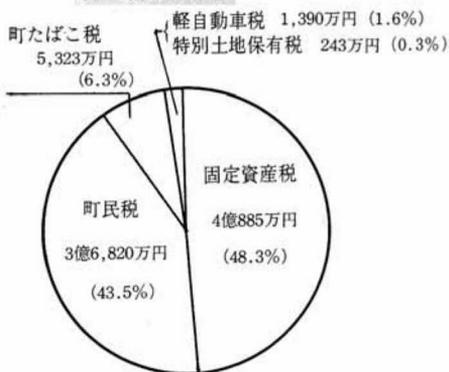
平成5年度予算

歳 入

五十億八千八百万円



町税の内訳



予算は、住みよい町づくりを進めるうえでとても大切なものです。

町民の皆さんが納める税金はいくらか、その税金はどのように使われているのか、そのあらましをグラフで見てください。町民の皆さんの家計に密接なつながりをもつ12,000人町民の家計簿です。

平成5年度の一般会計予算は、50億8,800万円、特別会計予算は19億7,696万円になっています。このうち一般会計分について平成4年度と比較してみますと、1億7,800万円(3.6%)の伸びとなっています。

町たばこ税 4,461円	町民税 30,853円	固定資産税 34,259円	1人あたりでは 入ってくるお金や使われるお金を、町民一人当たりで割ってみるとどうなるでしょう。 (一般会計の場合)
町債 79,344円	地方交付税 152,170円	軽自動車税 1,164円	

歳 入

※人口は、平成5年1月1日現在=11,934人

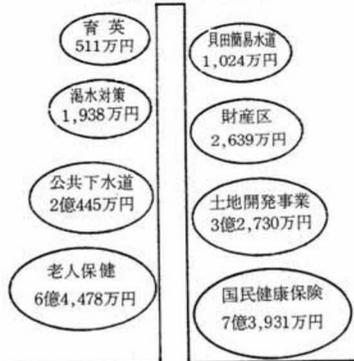
歳 出

グラフで見る

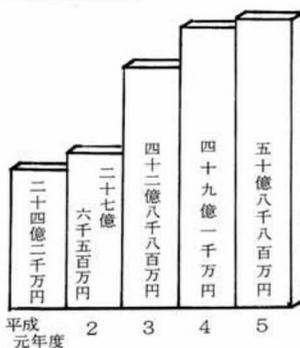
五十億八千八百万円



特別会計



一般会計当初予算の推移



<p>衛生費</p> <p>59,946円</p>	<p>土木費</p> <p>36,934円</p>	<p>教育費</p> <p>75,220円</p>	<p>総務費</p> <p>128,133円</p>	歳 出
<p>消防費</p> <p>14,059円</p>	<p>民生費</p> <p>31,786円</p>	<p>公債費</p> <p>33,810円</p>	<p>農林水産業費</p> <p>34,692円</p>	

平成5年度

国見町の重点事業

本号より、平成5年度における重点事業についてその概要をお知らせします。

今回第一回目は、国見町の重点事業として進めております観月台文化センター建設事業についてご紹介いたします。

観月台文化センターは

国の財政支援事業

ふるさと創生(地域づくり推進事業)

観月台文化センターは平成三年八月着工し、平成六年四月オープンに向けて建設を進めています。

この事業は昭和六十三年、平成元年にわたり全国一律にふるさと創生資金として一億円が交付されましたが、本町では町民からのアンケート調査や「ふるさと創生事業懇談会」三十人の委員での審議を経て「福祉と文化施設の建設」が決定され、平成二年に国(自治省)の「地域づくり推進事業」の指定を受け、国の財政支援を得て行う事業とし

て実施しているものです。

観月台文化センター(地域づくり推進事業)の概要は次のとおりです。

■建設費とその財源

(別表1)

■国の財政支援

(イ)地方債(借入金)の元利償還金の五十五%を国が援助

観月台文化センター建設のために借入れる地方債二十億九千九百四十万円は今後十年間で返済していくこととなりますが、毎年返済していく元金と利子についてその五十五パーセントを国が支援してくれるものです。

(別表2)

(ロ)維持管理費、運営費も国が援助

ふるさと創生事業で建設した施設の維持管理運営費についても市町村の財政負担を軽くするとともに施設づくりをソフト面でも支援するため地方債(借入金)の額のパーセント相当額が毎年、国から

交付されることになっていきます。

本町の場合、二十億九千九百四十万円の「パーセント」約二千九十九万円が毎年交付される見込みです。

○観月台文化センター建設事業は本町におきましても世紀の大事業であり国のふるさと創生「地域づくり推進事業」(地方が自ら考え自ら行う事業で国が財政支援をする)が、

なければ、とうてい町単独ではできないものではありません。ふるさと創生事業という新しい国の制度ができ、町民の総意に基づいて建設しているこの施設は国見町の新しい機能を備えた福祉センターであり、

また文化センターであります。二階、三階を利用した高齢者のデイサービスをはじめ文化活動の拠点として今後その機能、役割が十分果たせるような管理、運営面(ソフト)の検討を図って参りたいと考えております。

(企画商工課)

次号は、本年度より着手予定の上野台運動広場建設事業(教育委員会所管)についてお知らせいたします。

(別表1)

●建設費とその財源

(建設費)

本体建設工事費	25億3,361万円	
広場等外構工事費	1億1,000万円	
用地費	2億1,209万円	30億4,353万円
備品費	8,275万円	
調査、設計監理事務費	1億508万円	

(財源)

地方債(借入金)	20億9,940万円
地方交付税(国からの交付金)	5億3,000万円
(イ)ふるさと創生資金(昭和63年、平成元年)	(1億円)
(ロ)地域づくり推進費(平成2年~5年)	(4億3,000万円)
基金積立金(土地開発基金等)	2億2,500万円
純一般財源(税等)	1億8,913万円
(この事業を行うための実質町の負担額)	

(別表2)

地方債(借入金)	20億9,940万円	30億40万円
10年間の利子(約)	9億100万円	

内国の支援 16億5,000万円
内町の負担 13億5,040万円

*借入金利率を年7%と想定(現在の利率は4.71%)

建設工事が終わって町が毎年実質的に返済するお金は

$$\frac{13億5,040万円}{10年間} = 1億3,504万円 \text{ (1年間の返済額)}$$
 となります。

春の行政相談週間・五月十六～二十二日

公正・中立な立場で苦情や要望を速やかに解決

毎日の暮らしの中で、国の行政機関や公団の仕事に対して、「関係機関の処理が間違っている」「苦情を申し出たが、その措置に納得できない」といった苦情、あるいは意見や要望をおもちゃではありませんか。

わたしたちの暮らしは、国の行政機関やJR、N T T、日本たばこ、公園・公団などの特殊法人の仕事と深くかかわっています。道路や年金、住宅、交通安全、環境衛生—こうした行政に対する苦情や意見などがあ

る方は、ぜひ総務庁で行っている「行政相談」をご利用ください。
**行政運営の改善に
国民の声を役立てる**

行政相談は、行政が住民の苦情や意見を聴き、住民と関係する役所などの間に立って、公平・中立な立場からその解決を図るもので、国民の声を行政運営の改善につなげる役割を果たしています。手続きは簡単で、しかも苦情は迅速に処理され、解決が図られます。行政相談には、

次のような特色があります。
①国の行政機関、特殊法人、国の補助や委任を受けている都道府県・市町村の仕事など、国の行政全般にわたる苦情を受け付けます。

②管区行政監察局・事務所、行政相談委員による全国ネットワークで、どの窓口の問題でも、全国どこかの窓口に出しても、速やかに対応してくれます。

③相談者と行政機関の間に立つ第三者的な立場から公平で、中立な改善が図られます。

④個々の苦情を解決しながら、行政制度を改善し、苦情の再発防止にも努めています。



相談は無料で 秘密は厳守される

相談の窓口となるのは、各都道府県に設置された管区行政監察局・事務所の窓口や行政相談委員など。市町村ごとに設置さ

れている行政相談委員は、役場や公民館などでも定期的に相談所を開き、相談を受け付けています。また、直接出向かなくても、電話や手紙でも相談できます。相談はすべて無料で、秘密は厳守されますので、安心してご相談ください。
五月十六～二十一日は「春の行政相談週間」です。この期間中は、より多くの皆さんの声を聴き、行政に役立てるため、全国各地で相談所の開設や各種の行事が集中的に行われます。この機会にぜひ、あなたの声を聞かせてください。皆さん一人一人の声が、住みやすい地域社会をつくるのです。

さわやか行政サービス推進月間

行政を総点検 7つのポイント



国の行政機関や特殊法人では、皆さんの声を聴きながら、行政サービスの総点検を行い、改善を進めていく「さわやか行政サービス運動」を全国で実施しています。

この運動では、次の7つのポイントに沿って総点検が行われます。

- ①分かりやすい（道路や窓口の案内標識の整備など）
- ②便利（バスなどの輸送機関相互の接続時間の調整など）
- ③迅速（窓口の待ち時間短縮）
- ④清潔（建物内を清潔に）
- ⑤丁寧（窓口の親切な対応など）
- ⑥安全（点字ブロックの改善、歩道の段差の解消など）
- ⑦人間性の配慮（入院患者の夕食時刻の繰り下げなど）

5月は「さわやか行政サービス推進月間」です。この期間中は、サービス改善のための総点検、皆さんからの意見の聞き取りなどが集中的に行われます。また、主要都市では行政サービスに関する展示会、さわやか行政サービスフォーラム（平成5年度は福島市と福岡市の2か所）などの行事も開催されます。皆さんの意見・要望は各機関の相談窓口でも受け付けています。お気軽にお申し出ください。

改善された具体例

<相談内容>「JRの駅のホームと列車との間隔が大きくなり、足を踏み外す危険性がある。特にお年寄りや障害をもつ人にとってはたいへん危険なため、「JRに改善を要望しているが、一向に改善されない」
<対応と結果>相談を受けた行政監察事務所では、JRのA本社工事課に相談内容を伝え、検討を求めましたが、当初の回答は「基準に照らし、改善の必要はない」というものでした。しかし、行政相談委員が実際に現地を確認してみると、基準を満たしていませんでした。そこで、再度JR側に検討を求めたところ、早急に工事を行うとの回答を得て、改善が行われました。

新消防団長に

佐藤忠美さん

町消防団の辞令交付式が、四月二日、役場会議室で行われました。

今回は、三十八年余の団員歴を有し、六年間消防団長を務めた阿部恒夫さん(大木戸字館三十五一)が勇退し、後任の消防団長に佐藤忠美さん(藤田字天王畑一、八)が就任し、副団長には、林初男さん(鳥取字山田五十)が任命されました。

阿部恒夫さんをはじめ長い間、消防活動に尽力された皆さん、本当に御苦労様でした。

佐藤団長さん、火の守りをよろしく願います。



▲消防団辞令交付式

勇退された皆さん(敬称略)

阿部恒夫 安孫子正

佐藤邦治 吉田喜八郎

斎藤正 志村孝明

阿部茂男 村木一郎

佐藤隆造 菊池勝雄

國井好之 佐藤岩男

吉田洋一 佐久間利春

佐久間朝男 野村峯夫

山田孝男 佐藤幸雄

山田孝男(敬称略)

安藤四郎 山田勇一

遠藤 茂 曳地正勝

横山晋作 佐久間茂

佐藤光弘 斎藤幸雄

大内安雄 大沼重好

後藤孝一 後藤正利

佐藤保夫 村上信夫

国見高イレブン

同じ町名がとりもつ縁で当



▲歓迎の言葉を述べる富永町長

国見町への来町が実現した高校サッカー界の名門・国見高校(長崎県)のサッカー部員を歓迎するレセプションが三月二十五日夜、福島市の福島グリーンパレスで、約六十人が参加して開かれました。

歓迎レセプションには、国見高校の新一・三年生のレギュラー勢十七人、県のサッカー関係者、町側からは富永武夫町長、仲野周一町議会議長、神津武志町体育協会会長ら関係者が出席して行われました。

富永武夫町長と佐藤金一(国見町ライオンズクラブ会長)の歓迎の言葉や国見高サッカー部の菊田忠典コーチのあいさつに続き、部員に記念品として「招福こけし」が贈られました。

その後、会食が行われ、出席者は和やかに交流を深めました。

胸を躍らせ きょうから一年生

町内の小中学校の入学式は、四月六日、各学校で行われ、三百四人の新一年生が誕生しました。

今年希望に胸を膨らませて入学した小学生は百十九人

(小坂小十六人、藤田小五十五人、森江野小二十三三人、大木戸小十四人、大枝小十一人、西大塚のふ、中学生は百八十五人です。

森江野小学校(伊勢文朗校長)では、昨年十二月完成したばかりの真新しい体育館で厳粛に行われ、担任の先生から名前を呼ばれた新入生は、緊張した面持ちで元気よく、「はい」と答えていました。



▲森江野小学校入学式

事故ゼロを目指し 新しいスローガン

平成五年から県では新たに、「うつくしま、ふくしま交通マナーアップ県民運動」を推進し、悲惨な交通事故の発生を防止し、安全で住みよい福島県を県民あげてつくろうと

しています。

従来から使用していました年間スローガン「安全はゆづりあい、ゆつたり、ゆとり」からは「事故ゼロへ、大きな輪になれ、うつくしま」になりました。

ピカピカの新学期(園児が心弾ませ、交通社会の仲間入りをする季節です。

この新しい季節が交通事故で「暗転」することのないよう、みんなが力を合わせ交通事故ゼロをめざしがんばりましょう。

九月末完成を目指す 急ピッチ

国見東部高齢者等
活性化センター

高齢化地域農村活性化農業構造改善モデル事業として国の補助を受けて建設を進めている「国見東部高齢者等活性化センター」の上棟式は、三月八日、西大枝字王壇前の建設現場で行われました。

町税などの納付金は、
便利な口座振替を
利用しましょう。

愛の献血に82人

～平成4年度目標 100%を達成～

三月十五日、移動採血車が来町し、役場前、大岩機器工業所国見工場前、清水製作所前、福島信用金庫国見支店前の四ヶ所で献血活動を行いました。この結果、国見町の平成4年度の献血目標本数八一六本(二〇〇ml換算)を突破し、八九六本となり、百パーセントを達成することができました。

多くの方々から愛の献血のご協力をいただき、本当にありがとうございました。

☆平成4年度採血状況
合計 八九六本
達成率一〇九・八％
四〇〇ml献血者 72人
成分献血者 91人
なお、平成5年度の目標本数は八四七本(二〇〇ml換算)となつていますので、町民の皆さんのあなたがかいご協力をお願いいたします。

- ### 献血ありがとうございました
- (順不同・敬称略)
◎印は成分献血協力者です
○印は四〇〇ml協力者
(一般)
- 戸内 隆一 ◎平沼 浩
 - 渡辺 一郎 ◎斎藤 正美
 - 大塚 信子 ◎内池 育男
 - 高橋 勝美 木村 ナヲ
 - ◎阿部 洋一 八島 和子
 - 久田 佳伸 ◎佐藤ひろみ
 - (大岩機器工業所国見工場)
 - 小林 信明 ◎佐藤 盛雄
 - ◎本田 幸吉 田川 仁
 - 榊枝 仁 吾妻 一利
 - 一條 博 岡戸 孝司
 - 中野 義夫 ◎鈴木 隆
 - ◎鈴木 秋二 佐藤 芳則
 - 後藤 寿彦 知念 利彦
 - 佐藤 一紀 ◎長谷川栄哉
 - 刀根 博幸 実沢 光夫
 - 長谷川裕人 佐久間 守
 - 武田美貴子 曳地かおり
 - 加賀 桂子 鳥越 之夫
 - 宮口 義則 沼田 文夫
 - 遠藤 隆嘉 鈴木 俊一
 - 大貫 芳男
 - (朽木繊維)
 - 朽木 好秋
 - (清水製作所)
 - 武田 正一 齋 善五
 - 佐久間清市 曳地すみえ
 - ◎松浦 金蔵 徳江紀江子
 - 齋 栄子 瀬野 次男

- 穴戸あけみ 菅野 修
- (福島信用金庫国見支店)
- ◎八巻 栄徳 阿部 正信
- 三浦 英作 五十石新一
- 桜井 利広 ◎阿部 孝一
- 安藤 直光 ◎阿部 孝一
- (公立藤田総合病院)
- 井砂 幸子 ◎小林 幸夫
- ◎小紫 春雄
- ◎鈴木 正春 ◎高野 信昭
- 大和田紀夫 ◎高橋 芳男 ◎朧月 辰也
- (国見町役場)
- 富永 武夫 武田 慶子
- 武田 幹夫 阿部 正一
- 小西 春彦 ◎菅野 信明
- 村上 幸平 安田 博三
- 菊地 弘美 斎藤由起子
- ◎松浦 昭一 ◎羽根 洋一
- ◎佐藤 克成 斎藤 忠一
- 松浦 郁子

文化振興資金に五十万円

二月二十六日、須田寛一さん(藤田字澤田三、一)より、町に対して文化振興に役立ててほしいと、五十万円が贈られました。

これは、亡父須田滋一さんの御遺志によるものです。

積立ては、文化振興資金として有効に活用したいと考えています。

紙面をお借りし、お礼を申しあげます。

平成5年度 国見町町内会長

町内会名	氏名	町内会名	氏名	町内会名	氏名
駅前	奥山 一夫	山崎宮館	三瓶 茂	第3	佐藤 昌介
錦町	樋口 金三郎	山崎沢田	佐久間 法静	第4	石川 博義
大町	南渡 勝助	宮前	川村 静江	徳江北	太田 久三
大町	北西 富治	源宗山東	源宗 水春	第7	八巻 公月
本町	樋口 馨	源宗山西	斎藤 政之	第8	村上 上中
宮町	南海 林幸	源宗山北	斎藤 一雄	第9	蓬田 田一
宮町	北阿 重男	大坂	高橋 米造	第10	菊地 地忠
町	東斎 藤太助	山崎耕谷	佐藤 和次	第11	菅野 善助
宮町	東市 川多門	小坂	佐藤 元一	第12	大高 内安
鶴町	中野 勝美	太田川	佐藤 忠雄	貝田	高遠 橋徳
上野	渋谷 美男	前田	朽木 勝夫	光明寺	高遠 藤平
石母田東	高野 恭寿	板橋	関本 東一	高城戸	八島 宏夫
石母田表	佐藤 貞夫	泉田上	関口 正一	大木	阿部 恒夫
石母田北	佐々木 義助	泉田中	佐藤 喜明	山根	谷津 正晴
石母田原	菊地 平蔵	泉田下	阿部 栄作	原町	佐藤 栄二
石母田西	佐藤 瑞雄	鳥取	阿山 秋男	蓼館	鈴木 清三
山崎北	高橋 久蔵	内谷西	片平 達正	並柳	瀬藤 孝
滝山	鴨田 武蔵	内谷東	内熊 達一	中部	瀬藤 孝
山崎館	安藤 政一	第1	大津 義隆	北部	佐藤 喜久雄
山崎小館	中村 一郎	第2	佐久間 幸雄	川内	佐藤 清春

町職員の人事異動

町職員の人事異動が四月一日付で次のとおり発令されました。

▽教育委員会学校教育係主任主査(県北中学校主任主査) 佐竹朝子

▽藤田幼稚園主任教諭(教育委員会学校教育係) 佐藤幸子

▽公民館体育係主査(総務課付) 飯沼正

▽農林課農林土木係(農林課農林整備計画班) 羽根洋一

▽森江幼稚園教諭(住民福祉課福祉係) 斎藤由起子

▽藤田保育所保母(調理員) 渋谷啓子

■新採用 (一)内は新任
▽安藤充輝(住民福祉課福祉係) 佐藤水無子(保健課保健衛生係) 半沢一隆(税務課賦課係)

■異動および昇格(一)内は旧任
▽公民館長(建設課長) 鈴木捷治

▽税務課長(公民館長) 春日一憲

▽下水道課長(農業委員会事務局長) 井砂研二

▽建設課長(下水道課長) 須田善治

▽農業委員会事務局長(公民館主任幹事兼事業係長) 高橋正夫

▽総務課付(税務課長) 山田久

▽総務課付(税務課賦課係主任) 佐藤春夫

▽公民館事業係長(総務課文書広報係主査) 小西春彦

▽文書広報係主査(企画商工課商工振興係主査) 佐藤弘利

▽企画商工課商工振興係主任主査(農林課農林土木係主任主査) 後藤登美子

教職員の人事異動

■退職 (一)内は旧任
▽佐藤富子(藤田小)

▽佐藤光雄(県北中)

■転出
▽県教育庁義務教育課(小坂小教頭) 渡辺博志

▽福島市立信陵中教頭(県北中教頭) 菅野武雄

▽岩瀬村立白方小教頭(小坂小) 五十嵐清夫

▽梁川町立山舟生小(小坂小) 平井幸子

▽桑折町立半田醸芳小(藤田小) 佐藤喜夫

▽保原町立保原小(藤田小) 遠藤トモ

▽安達町立上川崎小(藤田小) 渡辺邦喜

▽飯館村立草野小(藤田小) 手塚優子

▽常葉町立常葉小(藤田小) 池田和紀

▽梁川町立白根小(大木戸小) 安藤まゆみ

▽猪苗代町立東中(大木戸小) 細田千年

▽保原町立桃陵中(県北中) 佐藤祥子

▽伊達町立伊達中(県北中) 安田由美子

▽いわき市立内郷二中(県北中) 佐藤俊恵

▽福島市立野田中(県北中) 高山尚之



▲教職員着任式(4月1日)

▽福島市立福島三中) 穴澤明子

■転入
▽小坂小教頭(梁川町立梁川小) 酒井方子

▽県北中教頭(霊山町立霊山中) 鈴木源二郎

▽小坂小(梁川町立梁川小) 田辺節子

▽小坂小(郡山市立永盛小) 佐々木芳三郎

▽藤田小(新採用) 稲垣隆一

▽藤田小(新採用) 白石裕子

▽藤田小(館館村立草野小) 北村壽秋

▽藤田小(館館村立白石小) 五十嵐みどり

▽藤田小(猪苗代町立山湯小) 高橋潤

▽藤田小(保原町立桃陵中) 菅野恵子

▽大木戸小(船引町立移小) 千葉昇

▽県北中(伊達町立伊達中) 斎藤和子

▽保原町立桃陵中(県北中) 鈴木由美子

▽原北中(月館町立月館中) 吉田淳子

▽県北中(桑折町立藤芳中) 三浦れい子

▽県北中(郡山市立熱海中) 菅野義広

▽県北中(保原町立桃陵中) 菅野みゆき

藤田駐在所に片岡巡査が着任



片岡 巡查

桑折警察署藤田駐在所第二区に、三月三十一日付で片岡正博巡査が着任しました。片岡巡査は喜多方署からの転任で、小坂地区・山崎地区・塚野目地区を担当します。地区の皆さんよろしくお願います。

交通教育専門員を二名に増員



▲交通教育専門員に委嘱された朽木好秋さん

町において、交通の安全に関する知識の普及及び交通安全思想の高揚を図るため、交通教育専門員を設置していますが、この度、交通安全対策のより一層の充実、強化を図り、従来からの大沼勉さん(山崎字耕谷三三四)に加え、新たに、朽木好秋さん(藤田字町裏七一)が委嘱されました。四月からは、二人の交通教育専門員が、街頭指導や交通安全教育にあたることとなります。委嘱状の交付式は、四月一日、町長室において行われ、富永武夫町長から委嘱状を交付された朽木さんは、「町から一件でも交通事故が減少するよう頑張ります。」と抱負を述べました。

国見町職員組織表

町長 富永武夫		助役 八島忠雄		収入役 大内正美		教育長 蓬田英夫	
課名	課長	主幹及補佐	係名	係長	係		
総務課	大波 健	佐藤 則雄 吉田 俊江	庶務係	佐藤 則雄	松田きよ江 松浦英夫 菅野信朗 佐藤弘利	菊地弘美 斎藤隆義 (山田 久) (佐藤春夫)	大津香織
税務課	春日 一憲		賦課課 固定資産 徴収係	吉田 吉夫 奥山 隆夫 渡辺 アヤ子	武田友江 武田京子 渡邊和己	佐藤光男 大波サト子 半澤一隆 戸冨浩寿	
保健課	松浦 幸雄	古川 比司	保健衛生係	武田 幹夫 古川 比司	佐藤和夫 中野成子	菅原文子 大波サト子	蓬田恭子 佐藤水無子
住民福祉課	高橋 弘信	佐藤 幸子 小野 智義	住民福祉係	松浦 京子 小野 智義 佐藤 幸子	安藤幸江 武田正裕 中田利枝	後藤浩子 東海林八重子 安藤充輝	黒沢敦子
保育所	所長 天野 英子			木口 絹子	後藤加代子 吉田和子	吉田邦子 渋谷啓子	倉田由美子
農林課	佐野 貞治	菊地 孝吉	農林振興 農林土木 農村整備計画班	佐藤 政弘 八巻 忠義 菊地 孝吉	武田慶子 村上健一 蓬田英石	引地由則 佐野 功 羽根洋一	渋谷康弘
農業委員会 事務局	局長 高橋 正夫			佐藤 光一			
建設課	須田 善治	後藤 澄雄	建設課 都市整備 部	後藤 澄雄 渋谷 和洋 安田 博三	佐久間正 松浦昭一 吉田義勝	阿部正一 村上幸平	
企画商工課	佐竹 弘治	吉田 貞男	企画調整 商工振興 国土調査	八島 英雄 吉田 貞男 中野 孝雄	佐藤 孝 吉田登美子 谷津富夫	佐藤克成 八巻秋夫 羽根田孝司 斎藤忠一	
下水道課	井砂 研二		下水道	阿部 正	遠藤喜正	鈴木哲也	
会計室			出納	武田 智	谷津美代子		
議会事務局	局長 吉田 孝夫						菊地富子
水道課	渡辺 等	佐久間 靖明	業務施設	佐久間 靖明 佐藤 軒二	中山ミエ子 佐藤光男	赤坂 斎	
教育委員会 事務局	教育次長 大浪 敏男	吉田 輝雄 木本 元治	学校教育 社会教育 生涯教育	吉田 輝雄 安藤 信男 古宮 睦男	佐竹朝子 引地 真	菊地軽子	
公民館	館長 鈴木 捷治	小池 芳男	事業	小西 春彦 小池 芳男	八巻美枝子 飯沼 正	松野雪子	

校(園)名	校(園)長	教 頭	
小坂小学校	渡部 正俊	酒井 方子	
藤田小学校	島腹 順一	佐藤 洋一	高子 宏子
森江野小学校	伊勢 文朗	松浦 恭夫	
大木戸小学校	久米 光勇	緑川 透	
大枝小学校	渡邊 富子	川崎 勝広	
県北中学校	斎藤 一哉	鈴木 源二郎	和泉喜久夫
藤田幼稚園	島腹 順一	佐藤 洋一	田中 陽子 紺野かず子 佐藤 幸子 阿部 正子
森江野幼稚園	伊勢 文朗	松浦 恭夫	斎藤アイ子 斎藤由起子



住民票・印鑑証明書等 手数料が変わりました

国の戸籍手数料令の改正等により、平成五年四月一日から住民票、印鑑証明書、納税証明書、公図閲覧等の手数料の金額が次のとおり改定されました。

- ・今回の改定は、昭和六十二年の改正以来で、伊達管内一斉に行われるものです。
- ・住民票の写し(除票も含む) 二〇〇円→三〇〇円
- ・印鑑証明書 二〇〇円→三〇〇円
- ・印鑑登録証の交付 二〇〇円→三〇〇円
- ・戸籍附票の写 二〇〇円→三〇〇円
- ・徴税証明書(納税、所得、資産の各証明書) 二〇〇円→三〇〇円
- ・公園、公簿の閲覧 二〇〇円→三〇〇円
- ・住宅用家屋証明手数料 八〇〇円→九五〇円

■問い合わせ

・住民福祉課住民係
☎8521111 内線131

対策本部 防霜対策に ご協力を

町では、果樹などの農作物を凍霜から守るため、四月七日に国見町防霜対策本部を設置しました。

霜が降りる恐れがある場合は、本部において広報車、有線放送で広報いたしますが、深夜にわたる場合が多くご迷惑かと思いますが、ご協力くださるようお願いいたします。

なお、降霜の時はタイヤなどを燃焼するため、黒煙が町全体に広がる恐れがありますので、翌朝の洗濯物などに十分注意してください。

凍霜の被害を最小限にするため、町民皆さんのご理解とご協力をお願いします。

■問い合わせ
・農林課農林振興係
☎8521111 内線232

国民年金

転勤や退職の時期で
届け出を忘れずに
四月は転勤、退職といった

異動の時期です。住所が変わったり、被保険者の種別が変わったりした場合は、国民年金の届け出が必要になります。次のような場合は届け出をしましょう。

- ・サラリーマンの夫が転勤になって住所が変わったとき
- ・サラリーマンの夫が脱サラし、自営業をはじめたとき
- ・学生が卒業し、サラリーマン(会社員または公務員)になったとき
- ・OLが結婚するために、退職したとき

■問い合わせ
・住民福祉課年金係
☎8521111 内線135

募集 「若人の翼」

県では、県内の青年を海外に派遣する「若人の翼」の団員を募集しています。

- ◇応募資格
県内に住む二十歳から三十五歳までの勤労青年
- ◇募集人員
七十三人
- ◇派遣国・期間
①ドイツ、スイス、フランス
②ブラジル、パラグアイ
③中国
④オーストラリア、ニュージー

ーランド
⑤アメリカ合衆国、メキシコ
各コース十月十三日から十五日間(南米は十七日間)の予定

■申し込み・問い合わせ
・教育委員会社会教育係
☎8521111 内線211

「青い鳥はがき」を 無料交付します

四月二十日から一週間は郵便週間です。郵政省では、郵便週間行事の一環として、身体障害者に対する国民の理解と認識を深めることを目的に、郵便はがき「青い鳥はがき」を発行し、重度の身体障害者に無料で差し上げております。

請求はご本人でなく代理の方でも結構です。また、郵便による請求にも応じておりますので、お早めにお受け取りください。なお、請求される際は、「身体障害者手帳」及び「印鑑」を持参願います。

- ◇対象者
重度身体障害者(一級及び二級)の方
- ◇受付期間
4月1日～5月31日
- ◇枚数
一人につき二〇枚

■問い合わせ

・藤田郵便局
☎8523330

無料法律相談会を開催

五月三日は憲法記念日です。この記念日は、昭和二十二年五月三日の日本国憲法の施行を記念し、「法」の役割の理解を深めるために制定されたものです。五月一日から七日までの憲法週間に、次のおり無料法律相談会が開催されます。

- ◇日時
5月6日(木)
午前10時～午後3時
- ◇会場
福島地方裁判所構内弁護士控室
☎3423334

募集

自衛官(男子)

自衛隊では、平成五年度第一次自衛官(二等陸・海・空士)採用試験(男子)を次のとおり実施します。

- 試験期日
土、日曜日及び祝祭日を除き、毎日実施
- 試験会場・問い合わせ
・自衛隊福島募集案内所
☎(31)5529



国見町公民館
TEL 85-2676
FAX 85-2707

就任のあいさつ

公民館長 鈴木 捷治

あいさつといたします。



このたびの人事異動により

公民館長を拝命いたしました。公民館事業は、町民の皆さんとのふれあいが多く、また多種多様な職務であると痛感いたしました。

もとより浅学非才の私には重責ですが、皆さんのご協力、ご指導をいただきながら、よりよい公民館活動の伸展と、「豊かで住みよい活力ある町づくり、心豊かな人間尊重の町づくり」を目指して、全力を傾注して参りたいと思っております。

何卒、前任者同様、格別のお力添えをたまわりますようお願いしてお願ひ申しあげ就任の

公民館職員の人 事 異 動

四月一日付で、公民館職員が次のとおり異動いたしました。

()内は旧任

- ◇よろしくお願いします
- ・館長 鈴木捷治(建設課長)
- ・事業係長 小西春彦(総務課文書広報係主査)
- ・体育係長 飯沼正(総務課付)
- ◇お世話になりました
- ・税務課長 春日一憲(館長)
- ・農業委員会事務局長 高橋正夫(主幹兼事業係長)

子育てコーナー

母親の愛は

地球を救う

いま、テレビ番組で人気の

霊能者、宣保愛子さんの番組で「ノストラダムスの地球滅亡の子言は警告であった、よい指導者と母親の愛が人類滅亡を救うことができる」という助言だ」といっています。いまいわれている人類の危機は環境問題もありますが、根本的な問題は人間の心の中にあると思います。

人の心の荒廃が社会の混乱をまねき、家庭内では子育てについての意見の対立、夫婦間でのトラブル、隣りどししのいがみ合い、地域内では協力が得られないなど子どもを取り巻く環境はよくありません。こうした中で若い母親が子育てをするのは大へんなことです。昔の母親にとっては歯がゆいことですが、何の苦勞もなしに育ってきた今の母親にとっては大変なこと

です。母親自身ももっと強くなくてほしいと願わずにはいられません。戦後、女と靴下は強くなったといわれますが、まだ弱い面があるようです。とくに精神的な面、辛抱、忍耐といった面で、我欲や執着が強くなった分、トラブルも起きやすくなります。

「子はかすがい」「女は弱

し、されど母親は強し」といわれるように、親の子に対する思いは、今も昔も変わらないでしょう。子の幸せを願い、社会人として自立できる能力を育ててやるのが親の願いであります。経済的な自立だけでなく、人間としてみんなから愛されるような人間性、家庭や地域、職場の中で精神的にたくましく、円満なつきあいができることが本当の自立です。目先の子どもへの幸せや甘やかして社会性や人間性を不毛にしてしまわないように基本的な「しつけ」はできるだけ幼いうちに、三才児ぐら

いまでに基礎づくりをする必要があります。そのための具体的な学習も必要ですが、あまり教科書に頼りすぎるのも教育ママゴンになります。子どもの個性、特性はますます多様な個性ですが、それをよく確かめ、子の個性に応じたやさしさのある対応をすること。しかし、万人にとって、ならぬことはならぬという厳しさをもつてくよくよしないで自信をもってやってほしいと思います。

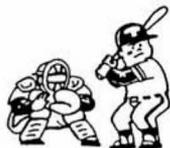
今年も「子育て教室」が六月から始まります。あまり教科書的にならず、楽しみなが

ら、母親同志のふれあい交流を大事にし、世代交流も考え、実施してゆきたいと思えます。どうぞ多くの方が受講されますようお願いいたします。

スポーツ安全保険に加入しましょう

この保険は、スポーツ活動、文化活動、奉仕活動、指導活動等を行う五名以上のアマチュアの団体やグループ(社会教育団体)を対象とし、加入者の皆さんが、安心して活動できるようにするために設けられているものです。

これからスポーツシーズンに入ります。万一の事故に備えてこの保険に加入し、安心して活動に専念しましょう。加入はいつでもできますが、早めに申し込みをされた方が早いです。公民館におたずねください。



募集 藤田シルバーソフトボールクラブ	
・参加資格	男性…50歳以上 女性…年齢を問いません
・練習日時	毎週日曜日 午前5時から
・場所	藤田小学校校庭
・会費	年会費 3,000円(保険料を含む)
・申し込み	佐々木 ☎85-2511 渡 辺 ☎85-2552 八 島 ☎85-5064

※申し込みは、公民館の加藤まで。

- ・会長 亀岡ツヤ
- ・定例会 毎週木曜(五月より)
午前9時～11時
- ・会費 月額 千円
- ・定員 二十名
- ※申し込みは、公民館の加藤まで。

- ◎国見町絵画クラブ 会員募集
- ・会長 高橋丑蔵
- ・定例会 毎月第一、三土曜
午後一時半より
- ※定例会のほか、展覧会の見学、写生旅行などあり
- ・会費 月額 千円
- ・内容 油彩、水彩、水墨画
- ◎国見ヨーガクラブ(昼の部) 会員募集

- ・会長 高橋丑蔵
- ・定例会 毎月第一、三土曜
午後一時半より
- ※定例会のほか、展覧会の見学、写生旅行などあり
- ・会費 月額 千円
- ・内容 油彩、水彩、水墨画

平成5年度 教室生・学級生募集

生涯学習で潤いのある人生を送りましょう

区分	趣 旨	内 容	対 象	申 込 込 込
子育て教室	幼児期の家庭教育の重要性を自覚し、その知識や技術などを学習する。	○期 間 平成5年6月～平成6年2月 ○回数・時間 年間16回 午前9時30分～11時30分 ○学習内容 幼児教育の基本と心構え、しつけ、幼児画、絵本や童話の選び方、食事と健康など。 ○おやつ代 年間 1,000円	1～3歳児を 持つ母親及び 祖父母 定員 20名	5月14日(金) まで
女性教室	女性として心豊かで健康に生きるため、教養や趣味を身につけたり健康づくりに努める。	○期 間 平成5年5月～平成6年2月 ○回数・時間 年間14回 午前9時30分～11時30分 ○学習内容 女性の生涯学習、健康管理、時事問題、趣味、スポーツ、グループ活動など。 ○運 営 費 年間 1,000円	町内に居住する 20歳～60歳 代の女性	4月28日(水) まで
成人学級	現代社会に対応できる知識や技能などを学習し、心豊かに生きがいのある生活を送れるようにする。	○期 間 平成5年5月～平成6年2月 ○回数・時間 年間14回 午後1時30分～3時30分 ○学習内容 一般教養、映画観賞、世代間交流、町政、料理実習、健康づくり、グループ活動など。 ○運 営 費 年間 1,000円	町内に居住する 70歳未満の 男女	4月28日(水) まで
阿津賀志学級	高齢化社会に適應した生き方を自覚し、教養や趣味を高めて、心豊かで充実した生活を送れるようにする。	○期 間 平成5年4月～平成6年2月 ○回数・時間 年間51回 午前9時30分～11時30分 ○学習内容 一般教養、健康管理、町政、草花栽培、交通安全、グループ活動など。 ○運 営 費 年間 1,000円	町内に居住する 概ね65歳以 上の男女	随 時

※詳しくは、お気軽に公民館におたずねください。



▲後継者媒酌人感謝状贈呈式

後継者媒酌人に対する感謝状の贈呈式は三月二十四日、町福祉センターで開かれました。

この日感謝状を受けたのは、一般後継者媒酌人として尽力された古溝忠一さん（小坂字前三三）ら二十二人、また、農業後継者媒酌人として尽力された菊地太三さん（石母田

後継者媒酌人に感謝状



字国見山下二の三）ら九人で、それぞれ後継者に對し、花嫁花婿をお世話され功績のあった皆さんです。

町では、豊かで住みよい活力あふれる町づくりの担い手確保として、また、これから町づくり若くは創意と工夫を生かして町の発展を目指すために「国見町後継者対策協議会」を組織し、媒酌人報償金制度を設け、後継者不足の解消に取り組んでおり、これまでに多くのカップルが誕生しました。



▲銀色功労盾の伝達を受ける平館さん

平館浩さんに銀色功労盾

百回以上の献血協力者に贈られる銀色功労盾の伝達式は三月十五日、役場町長室で行

われ、百三十七回も献血に協力した平館浩さん（三）藤田字南六九の功績をたたえました。

伝達式では、日本赤十字社が献血百回以上協力者に贈る銀色功労盾を富永町長が平館さんに手渡し、「尊い行為に心から感謝します。今後も協力をお願いします」と労をねぎらいました。



▲日本舞踊を楽しむお年寄りの皆さん

お年寄りを招待し楽しい一日

小坂婦人会（仲野ナオ会長）主催の「小坂地区高齢者と婦人のつどい」は三月七日、小坂中央集会所で開かれ、お年寄りに楽しいひとときをプレゼントしました。

小坂地区在住で、配偶者を

亡くされた七十五歳以上のお年寄り四十人が招待を受けました。

仲野会長のあいさつ、富永武夫町長、仲野周一町議会議長の祝辞のあと、婦人会会員の皆さんが作った味ごはんやとん汁、甘酒などを味わいながら、日本舞踊や民謡などを楽しみました。招待を受けた皆さんは、心温まる料理や出した物に大喜びし、和やかに親しくを図りました。



▲富永町長自らも安全運転を呼びかける

安全運転を呼びかける

春の全国交通安全運動が、四月六日から十五日までの十日間実施されました。

町交通安全協議会（会長 国見町長富永武夫）では、運

動の一環として、期間中の四月八日、宮城県との県境国道において、交通安全テント村作戦を実施しました。

テント村作戦には、富永武夫町長、志賀正達桑折警察署長はじめ、桑折地区交通安全協会、母の会、シルバー交通安全推進隊など交通安全関係機関、団体から四十一人が参加して行われました。

参加者は、ドライパーに啓発チラシ、ガム、ティッシュ、母の会手作りのお守りを手渡し、シートベルトの着用、安全運転の励行を呼びかけました。

編集日記

○三月から四月にかけては、出会いと別れの季節です。私も四月の異動により、広報編集を担当することになりました。前任者同様よろしくお願ひします。

○入学式初日から、交通事故の痛ましいニュースが聞こえてきます。

ドライパーの皆さん、黄色の帽子、ランドセルカバーを見かけたら、安全運転をお願いします。

(S)